

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 19 日

評価対象事業		評価者	文化財課担当課長 西山 朗	
文財-01	実施事業	財産管理事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 文化財課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課 財政課、管財課
総合計画上の位置付け	分野	行財政運営	施策の方針	行財政運営

1 事業の目的

対象	市有財産等
意図	財産管理に係る運営事務を行うとともに、土地等の売り払い等による収入を確保、公共公益施設整備基金への積立てを行うため。安定した財政運営を図るために、財政調整基金に積立てを行うため。
効果	普通財産土地等を良好な状態で維持管理するとともに、売り払い等による収入の確保を図る。財政の安定的な運営を図る。

2 平成28年度に実施した事業の概要

野村総合研究所跡地の管理を行い、市民向けに一般開放した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算		28年度決算		データ区分	29年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	3,149	2,789	当初予算(千円)	3,224			
	国県支出金			国県支出金				
	地方債			地方債				
	その他	632	191	その他	502			
	一般財源	2,517	2,598	一般財源	2,722			
	人員配置数	1.0	1.0	人員配置数	1.0			
	人件費(千円)	7,774	7,809	人件費(千円)	7,853			
事業運営	総事業費(千円)	10,923	10,598	総事業費(千円)	11,077			
	市民1人当りの経費(円)	62	60	市民1人当りの経費(円)	63			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	2. 事業の方向性は適切であるが、手法は見直す必要があり、あまり貢献できていない
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-1. 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済 ○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している 協働実施済の場合のパートナー 市民ボランティア等
事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> その他 見直しの内容 野村総合研究所跡地の所管の見直しを行い、公共施設のトータル的な管理を行うことで効率的な管理ができる。
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 暫定利用が続いている野村総研跡地の利用のニーズは高まっている。建物や跡地全体の有効な維持管理を進めて行く必要があるため、予算規模は現状維持とする。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	野村総合研究所跡地には豊かな自然が残っているため、近隣住民からの枯木除去や枝払いの要望に対し実施した。敷地内に繁茂した竹林は、ボランティア等と共に駆除等を実施したが十分な水準までには至らなかった。 また、研究所の建物は、文化財課を始めとする各課が倉庫的に利用しているが、老朽化が進み、危険度も増大している。市民に対しては、建物崩壊の危険性がある場所への立ち入り禁止措置を継続して実施している。その上照明や空調もないため、出土品の保管環境としては劣悪である施設の運用管理や維持管理は、非常に厳しい状況である。 平成28年度は現在保管している出土品を他の場所へ移設することについて検討を行ったが、移設実施までには至らなかった。公共施設を総合的に管理することによる効率化を図るため財産管理の所管を見直すとともに、跡地の今後の利活用について、改めて全庁的な検討を進める必要がある。	

平成28年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	埋蔵物の保管環境としては劣悪であるため、保管場所の移転の検討が必要である。	
課題解決のために行った平成28年度の取組	保管場所の移転先を検討したが、移転実施には至らなかった。	<input type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	出土品の保管環境としては劣悪であるため、保管場所の移転の検討が必要である。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	敷地の一般開放	単位	日	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
活用の方向性が定まるまでの暫定的な措置として、市民等への一般開放を進めるため。	目標値	359.0	359.0	359.0	359.0	359.0	359.0
	実績値	359.0	360.0	359.0			
	達成率	100.0%	100.3%	100.0%			
指標の内容	ボランティアの活用による竹林等の維持管理	位単	回	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
市民協働による敷地の適正な維持管理を進めるため。	目標値		5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
	実績値		11.0	8.0			
	達成率		220.0%	160.0%			

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	ボランティアの活用による竹林等の維持管理については、前年度よりは少なかったが、目標値を上回る回数の実施ができた。
-----------------------	--